

兵 庫 県
保 険 医 協 会

加古川
高砂

支部ニュース

No. 265

2019年11月25日

発行

兵庫県保険医協会 加古川・高砂支部

(連絡先) 神戸市中央区海岸通一丁目三十一

神戸フコク生命海岸通ビル五階
電話 〇七八 (三九三) 一八〇一

【第38回支部総会・記念講演】

『もしバナカード』でACPを実践

加古川・高砂支部は10月19日、第38回支部総会を開催。記念講演では「もしものための話し合い」それぞれの価値観に根ざした役割の再考」をテーマに、亀田総合病院在宅診療科部長・地域医療支援部長兼務、一般社団法人ACP理事の大川薫先生が講演し、医師・介護職員など37人が参加した。稲岡雄太先生から寄せられた感想文を掲載する(参加者のアンケートと総会議事については裏面)。

感想文 楽しさでセカイを変える 取り組み重ねたい

家庭医である大川薫先生の「もしものための話し合い」それぞれの価値観に根ざした役割の再考」という講演を拝聴しました。私自身も家庭医であり、何度か『もしバナゲーム』を用いてACP(アドバンス・ケア・プランニング)について医療者、住民向けに話をした経験があることから、今回の講演を非常に楽しみにしていました。

大川先生は千葉県南部の基幹病院である亀田総合病院で在宅診療を行っておられ、その日々の診療を通して気づいた問題点(事前指



ACPについて解説する講師の大川先生



『もしバナカード』を体験する参加者

示書、本人の病状理解、ゆらぎや非自発的同意、代理意思推定者、プロフェッショナルリズムなどを提起するかたちで講演は進行了ました。問題点の根底には「縁起でもない」の壁があり、その「縁起でもない」の壁を超えるきっかけの一つが『もしバナゲーム』である。ということを実際にその『もしバナゲーム』を体験。「縁起でもない」話のはずなのに、とても楽しく、あっという間に時間がすぎました。講演の中では、援助職としてACPと向き合うときに大切な点として、①話し合いを開始する

かどうかは本人の心の準備の程度に従い、積極的待機をする。②意向は状況に応じて変わるかもしれないので折を見て対話を繰り返す必要がある。③代理決定者になる可能性のある家族等が誰なのか、またその心の準備と責任とを促す。④事前提示やエンディングノートなど紙に書いた記録そのものよりも、ライフレビュー(それまでの人生録)や本人・家族が大切にしている価値観・信念を共有する。⑤自分の価値観・信念の傾向やその「ゆらぎ」を知ったうえで支援にあたる、とまとめられていました。

ACPを流行りで終わらせないために、楽しさでセカイを変える、その一人としてこれから日々できることを重ねていきたいと思いました。

【加古川市・西村医院

勤務医 稲岡雄太】

加古川・高砂支部ニュース への投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。



TEL 078-393-1840 / FAX 078-393-1820

e-mail yamada-t@doc-net.or.jp 担当：山田まで



西村支部長から、2018年度活動報告及び2019年度方針案が提案された

第38回支部総会議事では、佐々木一副支部長(加古川市・もと皮膚科クリニック)の議長の下、物故会員への黙祷が捧げられたのち、西村正二支部長(加古川市・西村医院)が2018年度活動報告と2019年度活動方針案を提案。全会一致で承認された。

また、新年度の役員選出が行われ、協会評議員および予備評議員が選出された(新年度協会役員一覧は下欄に記載)。

【第38回支部総会議事】

加古川・高砂支部 新年度協会評議員一覧

【協会評議員】

石見 哲朗 先生 (加古川市・いわみ医院)
 佐々木 一 先生 (加古川市・もと皮膚科クリニック)
 船原 隆行 先生 (加古川市・船原歯科医院)

【協会予備評議員】

是枝 哲也 先生 (高砂市・是枝医院)
 橋本 直樹 先生 (加古川市・はしもとキッズクリニック)
 宮本 和明 先生 (加古郡稲美町・宮本医院)
 近藤 壽孝 先生 (加古川市・さくら歯科クリニック)

☆ 支部幹事会だより ☆

10月31日(木) 午後7時～ 於 加古川商工会議所 会議室
 <報告> 組織拡大、医療情勢、市議会請願、第38回支部総会報告、
 会員懇談会など今後の支部企画について討議しました。

<11月日程> 幹事会には、会員の先生はどなたでもご参加いただけます!!

11月28日(木) 午後7時～ 於 加古川商工会議所 会議室

※お問い合わせは、TEL 078-393-1840 FAX 078-393-1820 担当：山田・佐々木まで



『もしバナカード』を通して互いの死生観などをざっくばらんに話し合った

・大変勉強になりました。考え方が変わって良かったと思います。親の介護に元気と勇気をもらいました。感謝の一言です。また、も

しバナゲームも楽しかったです。またどこかでやってみて勉強していきたいと思うし、他の人にも伝えていきたいと思いました。(介護者)

・援助者がACPにかかわる際の注意点、考えるべき点、心がけること、態度など色々教えていただき、良かった。医療者でない私達が利用者の考えを理解することの大切さを知りました。(ケアマネジャー)

・ACPについての研修を受けてきましたが、今回、本人や家族も「ゆらぐ」が、援助者も「ゆらぐ」のだということ、ICと同時にACPも押しつけになってはいけないということ学べたのが良かったです。(看護師)

・死にゆく人とどう向き合うか何

を大切にされているのかを知ることが、その方に寄り添うことだと思います。もしバナゲームで、意志確認していく大切さを学びました。(ケアマネジャー)

・ACPについて医療側、本人、家族側からなど様々な考えることができました。もしバナを通じてACPを民間、若い世代から広めたいと思います。(介護福祉士)

・心不全患者様家族へのACP導入について悩んでいました。今回のご講演でアプローチの仕方、考え方が理解できたように感じました。(看護師)

・医療者のACPへの向き合うきめ細やかな姿勢が感じられて、とても心強く感じられました。(介護予防カフェ主催者)